

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
担当課名	建設課
グループ名	土木グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	道路改良事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標 安全で住みよいまちく都市基盤の充実	①会計区分 一般会計				
②大項目 道路・交通	②財源区分 町単独				
③中項目 道路の整備	③予算科目 款 8 項 1 目 3				
④施策 生活道路の整備	④予算事業名 道路改良事業費				
⑤施策コード 3・5・1・2 掲載ページ 57 ページ					
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託) 自治事務	①総合戦略 一般会計				
②根拠法令・条例等 道路法	(該当事業名) 無				
③事業期間 開始 不明 年 月から	終了 未定 年 月まで				
2 事業の目的・内容等					
(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)				
通行の安全及び地域の利便性の向上を図り、生活環境の改善を図る。	地域の要望及び公共の福祉の観点から必要な箇所の道路整備を行う。				
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)				
町管理の未改良道路	町民が安心して通行できる道路整備、交通事故の防止。				
対象数	未改良の町道延長	単位	m		

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

道路改良が進み成果を上げているが、狭い生活道路は依然として残されている。そのため、過去の請願・陳情・要望が提出されている案件があるが、未だ予算の関係で未整備の状況にある。また新たな要望等はかつてよりは少ないものの、現在も寄せられている。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

項目 名称	(1)事業(内容)				
	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算
(2)委託料	297	0	985	0	500
工事請負費	1,871	880	770	939	940
用地費	997	0	231	0	100
負担金	1,022	1,620	600	160	1,000
補償費	0	0	717	818	3,300
その他	0	0	0	0	0
直接事業費合計	4,187	2,500	3,303	1,917	5,840
(3)国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源	4,187	2,500	3,303	1,917	5,840
合計	4,187	2,500	3,303	1,917	5,840
(4)補助金名					
(5)人件費					
投入職員数	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
年間人件費	1,907	1,886	1,880	1,943	2,008
(6)総事業費	6,094	4,386	5,183	3,860	7,848
サービス量(一)	-	-	-	-	-
サービス単価	-	-	-	-	-
(単位)			-		

4 指標の検証		道路改良事業費				
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	道路改良延長	目標値	m	0	31.5	
		実績値	m	0	31.5	
		達成率	%	—	100.0	
指標名	用地買収面積	目標値	m ²	68.21	0	
		実績値	m ²	68.21	0	
		達成率	%	100.0	—	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	道路改良率	目標値	%	42.13	42.13	
		実績値	%	42.42	未確定	
		達成率	%	100.7	未確定	
(3)その他指標に現れない成果						
未確定の令和6年度の道路改良率実績値については、令和8年6月に確定する予定である。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他(行政主体の事業であり、現在の手法は妥当である。)	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(地域の状況に応じた工法や経済性を検討し事業を推進している。)	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(道路環境が整備され、住民生活の安全性や利便性が向上した。)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
町の方針として、特殊な事業を除いては新規路線の道路整備を進めていない状況である。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	町の方針もあり、現状維持はやむを得ない。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						